大分港 大在西地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業

大分港の関東向けRORO船便数は九州１位であり、近年航路の就航や増便に伴い増加しています。さらに旺盛な貨物需要やモーダルシフトの促進により、今後も新規航路の就航や船舶の大型化が見込まれています。そのため、本事業では貨物需要の増大に伴うRORO船の大型化等に対応するため、大在西地区において、岸壁（耐震）の整備、泊地の浚渫等の港湾施設の整備を行います。

【整備施設】

岸壁（耐震）（水深９ｍ）、泊地（水深９ｍ）

西防波堤、中防波堤、臨港道路、ふ頭用地、護岸